

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案（3年）

平成28年6月9日（木）第5校時

指導者 坂口 香織

【授業の視点】

商品の購入方法を選択させる場面で、少人数グループで個々の選択理由を交流させたことは、目的に応じた購入方法を選択する力を伸ばすうえで有効であったか。

1 題材名 わたしたちの消費生活 ～賢い消費者になろう～

2 考察

（1）題材観

<①学習指導要領上の位置付け>

・ D身近な消費生活と環境 （1）家庭生活と消費

ア「自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること」

イ「販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入及び活用ができること」

<②題材の価値及び生活との関わり>

・適切な消費生活を営むためには、情報を収集・整理し、商品を適切に選択する力や、消費者の権利と責任や消費者問題、トラブルに対する予防策や解決方法への理解が必要となる。中学生は、小学生の頃に比べて日常の行動範囲が広がり、物資・サービスを購入するといった消費生活がより身近になる。また近年、インターネットの普及とともにスマートホンの普及が低年齢化し、小中学生を対象とした消費者トラブルの件数が増加傾向にある。以上のことより、本題材で、身近な消費行動を振り返り、消費者の基本的な権利と責任への理解を深め、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用について学習することは、消費生活に関する知識・技能を身に付けることにとどまらず、自分や家族の生活の仕方や消費の在り方を改善しようとする消費者としての自覚につなげることができ、指導の意義は大きい。

<③伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力>

- ・消費生活と契約に関わる知識
- ・整理した情報を商品の選択に活用する技能
- ・販売方法と支払方法の種類と特徴に関わる知識
- ・消費者の権利と責任に対する理解
- ・消費生活や消費者トラブルに関する情報を収集、整理する技能
- ・環境に配慮した消費生活を工夫しようとする態度

<④そのために必要な指導・活動>

- ・具体的にさまざまな契約の例を提示し、消費生活と契約について考える活動を行う。
- ・3つの音楽プレーヤーの中から、商品情報を参考にして、品質、機能、価格、アフターサービス、環境への配慮などを考慮して商品を選ぶ活動を行う。
- ・販売方法や支払方法のそれぞれの利点と問題点を考え、購入の目的に応じて購入方法を考える活動を行う。

- ・買い物の場面をもとに、消費者の権利と責任の具体的な事例を考える活動を行う。
- ・消費者トラブルの事例を挙げて、消費者を守る法律や制度、相談機関があることを調べる活動を行う。
- ・各自の消費生活を見つめ、環境に配慮した視点から商品を選ぶ模擬体験活動を行う。

＜⑤今後の学習への活用＞

- ・「A家族・家庭と子どもの成長」において、消費生活との関連を図った学習

（２）生徒の実態（男子１４名、女子１８名、計３２名）

＜既習の学習内容＞

- ・小学校において、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方、適切な購入について学習してきている。

＜本題材に関わる生活経験＞

- ・商品購入の場面で、自分の考えで商品を選択し、購入している生徒は多いが、商品情報を整理し、比較検討することや、販売方法を商品に応じて選択することまではできていない。また、無店舗販売の利用については、無店舗販売を利用したことがある生徒は２８名で、その中でも頻繁に利用する生徒が６名、通信販売による失敗経験のある生徒が９名おり、インターネット販売の利用経験がある生徒がほとんどであった。消費者トラブルにおいては、悪質商法の事例を知っている生徒は少なく、トラブルに巻き込まれないようにしようとする意識はあるものの、具体的な対処方法までは結び付いていない。

＜本題材に関わる実態及び指導方針＞

- ・中学生になり、商品の購買意欲も高く、消費行動に関する興味・関心は高いが、実際に購入する際のポイントや、商品に応じた購入方法、及び活用まで考えるところまでは至っていない。商品の選び方や購入の仕方を知ることの必要性に気付くことができるような実践的・体験的な模擬体験活動を設定し、実感を伴った理解につなげていきたい。
- ・中学生のスマートホンやパソコン利用の普及により、インターネットにいつでもアクセス可能となっているものの、それらを適切に利用する技能が不足している生徒が多い。消費者トラブルの事例を挙げて、模擬体験を通して、予防策や解決方法を学習させたい。
- ・お小遣いをもらっている生徒やもらっていない生徒、金額の設定にも各家庭によって異なり、生活経験には大きな差があった。そのため考える活動では、プライバシーに配慮した場面設定をして模擬体験をさせたい。

3 校内研修との関わり

本校は、研究主題を「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成—各教科における『考え、表現させる』ための交流活動を通して—」として研修を進めている。本題材では、交流活動を通して自分の考えを広げ、学んだことを活用して実生活に生かせる生徒の育成に努めたい。

- #### 4 題材の目標
- 自分や家族の消費生活に関心をもち、物資・サービスの適切な選択・購入及び活用の工夫ができるとともに、環境に配慮した消費生活への実践的態度を身に付ける。

5 評価規準及び指導の計画概要（全9時間予定）

評価規準	家庭生活への関心・意欲・態度		自分の家庭の消費生活に関心を持ち、よりよい消費生活を実践しようとしている。					
	生活を工夫し創造する能力		収集・整理した情報を活用して、より適切な物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。					
	生活の技能		物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。					
	家庭生活についての知識・理解		家庭生活と消費、消費生活と環境との関わりに関する知識を身に付けている。					
過程	時間	伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力		主な学習活動	関	工	技	知
		知識・技能等	思考力・表現力等					
見 つ め る ・ つ か む	1		・必要なものと欲しいものに分類して、計画的に買い物をする力	○必要なものと欲しいものを分類する活動を通して、計画的な商品の購入を考える。	○			
	1	・消費生活と契約に関わる知識	・契約について具体例を挙げて、説明する力	○契約と約束の違いを考え、売買契約の事例や契約成立の流れを知る。				○
追 究 す る	1	・整理した情報を商品の選択に活用する技能		○商品選択の模擬体験をして商品情報をもとに、音楽プレイヤーを選択し、品選択のポイントを考える。				○
	2 本 時 1/2	・販売方法と支払方法の種類と特徴に関わる知識	・購入の目的に応じた購入方法を適切に選択する力	○商品の購入場面を想定し、販売方法と支払方法の特徴を考え、自分のニーズや商品に適した購入方法を選択する。		○		○
	1	・消費者の権利と責任を活用する技能		○商品の購入場面をもとに消費者の権利と責任の具体的な事例を考える活動を通して、基本的な権利と責任を理解する。				○
	1	・消費者トラブルに対応するための技能	・消費者トラブルの解決策を考える力	○消費者トラブルについての模擬体験を通して消費者トラブルを解決する方法や予防策を考える。		○		

	1	・環境に配慮した生活に関する知識	・環境に配慮した消費生活を工夫する力	○環境に配慮した消費生活について関心を持ち、実生活でできることを考える。		○		
まとめ	1		・よりよい消費生活にするために、自分なりに工夫しながら実践する力	○消費者すごろくゲームをする活動を通して、学習内容を振り返り、積極的に自分らしい消費生活についてまとめる。		○		

6 本時の展開 (5/9)

(1) **ねらい** 販売方法の特徴を知り、購入の目的に応じた適切な購入方法を選択することができる。

(2) **準備** 教科書「新しい技術・家庭科〔家庭分野〕」(東京書籍)、ワークシート、商品カード、フラッシュカード

(3) 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 前時の復習をし、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗、無店舗といった二つの販売方法の名称と具体的な店舗の種類を確認する。 ・以前にアンケートで聞いた販売方法に関わる買い物での失敗してしまった経験を紹介する。 ・本時は、失敗をしない買い物をするための学習を知ることを知る。 <p>店舗販売には専門店やショッピングモールなどの大型店、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどがあつたな。</p> <p>無店舗販売にはインターネットやカタログを利用する通信販売や訪問販売、などがあつたな。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの販売方法の名称と種類を問いかけることにより、前時の内容を復習できるようにする。 ・商品を購入するときに、どこから購入しているか問いかけることにより、自分たちの身近にある販売方法を具体的に確認できるようにする。 ・前時までに収集した買い物での失敗経験のアンケートから、いくつかの経験談を紹介することにより、自分や家族の買い物の仕方を振り返り、課題意識をもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【学習課題】 販売方法の特徴を知り、失敗のない買い物をしよう </div>		

<p>2 販売方法の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗販売（専門店、大型店）と無店舗販売（インターネット、カタログ）の特徴を考え、ワークシートに記入し、発表する。 <p>専門店では、お店の人が親切に対応してくれるよね。買った後も困ったことがあると相談に乗ってくれそうだな。</p> <p>大型店は、試着室があるから、気軽に試着ができたり、実物を見て判断したりすることができるな。</p> <p>インターネットでは、価格も比較的安く、お店に置いていない商品が買えるかもしれない。でも、実際に見られなかったり、大きさが自分に合うのか分からなかったりするね。</p> <p>カタログは、品数は少ないかもしれないが、さまざまな種類のものが一度に見られるし、お店にないものが買えるかもしれない。でも商品が届くまでに時間がかかってしまうことがあるな。</p>	<p>1 2 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品を購入するときに、店舗販売（専門店、大型店）と無店舗販売（インターネット、カタログ）で「できること」と、「できないこと」を問いかけることにより、販売方法の特徴に気付けるようにする。 ・購入する商品を具体的に提示することにより、それぞれの販売方法で「できること」と「できないこと」がイメージしやすくなるようにする。 ・個人で考えた意見をワークシートに記入させる。 ・それぞれの販売方法の「できること」と「できないこと」を全体で確認する。 <p>発問1…店舗販売と無店舗販売のそれぞれの販売方法で、商品を買うときに「できること」と「できないこと」を考えてみよう。</p>
<p>3 販売方法の特徴を踏まえて、一つの商品の購入方法を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに与えられた商品を購入する場合の購入方法を考え、その理由をワークシートに書く。 <p>— 腕時計の選択の例 —</p> <p>腕時計を買うなら、デザインを重視したいので、実際に手に取って見られる専門店か大型店で買う。</p> <p>より安い腕時計を買いたいので、ネットで買う。</p> <p>よりお得感があり、お店には置いていない腕時計が欲しいので通販で買う。</p>	<p>8 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の購入場面としては、各自のニーズに応じた模擬体験となるように「2週間後の修学旅行で利用する」といった購入目的を提示する。 ・購入する商品は、中学生にとって身近で購入方法が具体的にイメージできるように、腕時計、Tシャツ、リュックサック、デジタルカメラの四つの商品を提示する。 ・四つの商品については、より具体的に考えられるように、写真を黒板に掲示する。 ・購入方法の選択についての話し合いが深まるよう、同じグループの生徒には、同じ商品について購入方法を選択させる。 <p>発問2…それぞれの販売方法の特徴を踏まえて、購入方法を選択してみよう。</p>

<p>4 選択した購入方法をグループで交流し、購入方法を再検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、選択した購入方法とその理由を発表する。 ・聞き手は、発表者の考えの問題点について質問する。 <p>— 話し合いの例（腕時計の選択） —</p> <p>発表者</p> <p>私は、インターネットで買います。理由は、価格を重視したいので、安く買いたいことと、お店に比べると品数が多く色の種類も豊富だからです。</p> <p>聞き手</p> <p>イメージしていた色と違う商品が届いたらどうしますか。</p> <p>発表者</p> <p>仕方ないので、あきらめて届いた商品を使います。</p> <p>聞き手</p> <p>使っているうちに壊れたり、修理が必要になったりしたときにどうしますか？</p> <p>発表者</p> <p>そうですね。その場合は、お店で買った方がアフターサービスが充実していて安心かもしれないですね。</p>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループについては、3～4人の少人数構成にして、意見交流をしやすいとする。 ・グループでの発表の仕方を例示して説明することにより、グループ活動が進行しやすくなるようにする。 ・聞き手には、発表者が選んだ購入方法で「商品購入後に発生する問題点はないか」といった視点で発表を聞き、質問につなげるよう促す。 ・質問を受けて、購入方法について考えが変わった場合は、赤ペンで修正するよう促す。 ・机間指導を行い、質問が滞っている場合には、必要に応じて教師から質問を投げかける。
<p>5 グループで話し合った内容について発表する。</p> <p>最初は、価格を重視してインターネットで買おうと思ったのですが、グループの人に「壊れたときにどうすの？」と聞かれ、アフターサービスが確実な専門店や大型店で買おうと考えが変わりました。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いにより、購入方法が変わった生徒を意図的に指名し、考えを広める。
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して、失敗のない買い物をするために大切なことをワークシートに書き、発表する。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返ることができるように、課題である「失敗のない買い物」について学んだことを整理させる。 ・数人指名し、考えたことを共有することで、全体で

◇評価項目 販売方法の特徴に関する知識を活用し、目的に応じたよりよい購入方法の選択ができている。
(ワークシート)【工】

安いからといってすぐ購入するのではなく、実物を見る必要性などを考えて、目的に応じて購入方法を使い分けることが大切である。

見た目や価格だけではなく、長く使うといったことを考えて、自分に合った購入方法を選択することが大切である。

本時の振り返りをする。

- ・次時は、商品を購入する場面を想定して、商品を手にするときに発生する消費者の権利と責任について考えていくことを伝える。

発問3…今日の学習課題である「失敗のない買い物」をするために、大切なことをまとめてみましょう。

7 板書計画

<学習課題>

販売方法の特徴を知り、
失敗のない買い物をしよう

店舗販売

専門店、大型店、
スーパーマーケット

無店舗販売

通信販売（インターネット、カタログ）
訪問販売

販売方法の特徴

	店舗販売	無店舗販売
	専門店、大型店	インターネット、カタログ
できる	・実物が見られる	・価格が安い
できない	・簡単に買い物ができない	・実物を試すことができない

失敗のない買い物をするために大切なこと

- 目的に応じて購入方法を使い分ける。
- 見た目だけでなく、買った後のことも考えて、自分に合う購入方法を選ぶ。